

2019 年度 京都教育大学附属京都小中学校 学校評価

自己評価	
A	十分達成できた
B	概ね達成できた
C	十分には達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

① 教育活動その他の学校運営に関する事項（学校教育法に基づく評価）

本年度の重点目標	具体的な取組内容	自己点検評価	自己評価区分	学校関係者評価	改善策
(1) 日常の教育活動の充実	①新学習指導要領の理念に則した各教科の授業実践を進める。 ②多様な学習集団による学習や活動のうち、主として初等部縦割り活動や中等部行事について精選・統合や内容の見直しに着手する。 ③生徒一人一人が自己有用感を高める学級経営を推進するとともに、道徳科や総合学習の各学年目標や内容について見直しを推進する。	*	*	*	*
(2) 義務教育9年間で資質・能力を育成するための教育課程の実施	①文部科学省研究開発学校指定を受け、義務教育9年間で資質・能力を育成するための各教科における系統的カリキュラムを実施，検証する。 ②学年間や教科間の学習内容の精選・整理・統合に関する研究を推進する。	*	*	*	*

<p>(3) 生活力・社会性を伸張する義務教育9か年の特別支援学級教育課程の試行</p>	<p>①附属特別支援学校との連携による事例研究をさらに充実させる。 ②特別支援学級において、教育課程の一部コア・カリキュラム化を実施，検証する。</p>	<p>*</p>	<p>*</p>	<p>*</p>	<p>*</p>
<p>(4) 義務教育学校の教育効果の検証</p>	<p>①本校が構築した義務教育学校カリキュラムモデルについて，積極的に情報を発信するとともに，汎用性の検証を行う。 ②全国の小中一貫教育学校や義務教育学校とのネットワーク拡充を図り，課題や成果についての情報共有に努める。</p>	<p>*</p>	<p>*</p>	<p>*</p>	<p>*</p>

2019 年度 京都教育大学附属京都小中学校 学校評価

自己評価	
A	十分達成できた
B	概ね達成できた
C	十分には達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

② 附属学校園の機能向上に関する事項

本年度の 重点目標	具体的な取組内容	自己点検評価	自己 評価 区分	学校関係者評価	改善策
教育実習指導のより一層の充実及び教育実習の改善  (中期計画 35)	①大学の実地教育運営委員会と協働し、教育実習指導や実習評価の改善に継続して取り組む。 ②教育実習に関して、これからの時代に求められる教員の資質・能力に則した指導内容のさらなる充実を図る。	*	*	*	*
大学の方針に基づく教員養成及び実践的教育研究への協力  (中期計画 36)	①大学の「グローバル人材育成プログラム」事業について、引き続き協力する。 ②大学教員や各附属学校園の教員と協働して、義務教育学校教育課程研究や、エビデンスに基づく教育課程モデル提供に関して、継続して取り組む。	*	*	*	*
地域の教育力向上への貢献及び教育研究活動の成果の公表  (中期計画 37)	①大学の教育創生リージョナルセンター機構との共催、京都府・市教育委員会の後援により、研究発表会を開催する。 ②地域や全国の教育委員会、学校関係者等の学校訪問を積極的に受け入れるとともに、義務教育学校関連のネットワーク拡充に取り組む。	*	*	*	*
教職員の働き方に関する取組の推進  (働き方改革)	①校務の効率化に向けた取組や教員業務の見直しを行う。 ②校舎増改築工事を機に、より効率的な教員業務環境を整備する。 ③本校の部活動運営方針に基づいた活動を実施するとともに、生徒の完全下校時刻の変更を行う。 ④ノー残業デーや教員業務休止期間を引き続き設定し、働き方改革を推進する。	*	*	*	*

注) \*印の欄は、年度末に記載予定